

第3回 京田辺市産業振興ビジョン推進委員会 議事要点

区分	内容
京田辺市 産業振興ビジョン素案	<ul style="list-style-type: none"> 交通ネットワークの概況の地図は名古屋まで範囲を広げた方がよい。道路が三重・名古屋方面に抜けていることが大きな特徴であり、流通の拠点になり得る可能性がある。強みとなる、アクセスのよさをもう少し記載してはどうか。
アクションプラン素案 (京田辺市産業を 取り巻く環境と 対応する取組)	<ul style="list-style-type: none"> 高齢化を「脅威」とみているが、元気なお年寄りの方も多。高齢者の方等の就業支援などがあれば、強みになっていくのではないかと。 「京田辺市産業を取り巻く環境と対応する取組」に記載のある取組内容は細かく記載せず、目標レベルの記載とした方がわかりやすくなる。 「京田辺市産業振興ビジョン（素案）概要版」の基本的考え方の中に、考え方以外の事項の記載があるが、整理されてはどうか。
観光について	<ul style="list-style-type: none"> 観光案内所を、より分かりやすい場所に移設した方がよいのではないかと。 まだ活用されていない市内の資源等を活用したイベント等の企画、実施に向けた地域の人へのアドバイス等が必要。 木津川を観光に利用するという考えはないかと。 ツアー・オブ・ジャパンのスタート地点は普賢寺ふれあいの駅。盛り上がるのはゴール地点であるので、1年毎に変更するなど考えたほうがよいのではないかと。
農業について	<ul style="list-style-type: none"> 農業の弱みに「一戸当たり経営耕地面積の狭さ」がある。少ない面積でも経営できる方法等を考えていかなければならない。
進行管理について	<ul style="list-style-type: none"> 評価の流れは、担当部署による内部点検、ビジョン評価チームによる検証・評価、その結果を踏まえた、推進委員による今後の取組の方向性の改善指示という流れで、計画の進捗状況や手法について検証・評価を行うこととする。 PDCAは、スパイラルアップのイメージを加える方がよい。